

埼玉アートシアター 通信

SAITAMA ARTS THEATER PRESS

2014.9-10

NO. 53

★
20th

anniversary

彩の国さいたま芸術劇場開館20周年

SAITAMA ARTS THEATER



開館20周年記念感謝祭・オープンシアター開催!

ニナガワ×シェイクスピア レジェンド第2弾『ハムレット』

さいたまゴールド・シアター / 万作・萬斎の世界 / バンジャマン・ミルピエ
ピエール＝ロラン・エマール / 新日本フィルハーモニー交響楽団 / 堀米ゆず子



2014.9-10
NO. **53**

03	EVENT	彩の国さいたま芸術劇場オープンシアター ～開館20周年記念感謝祭～
06	PLAY	笈田ヨシ、さいたまゴールド・シアターを語る 『鴉よ、おれたちは弾丸をこめる』
08	PLAY	ニナガワ×シェイクスピア レジェンド第2弾 『ハムレット』
09	PLAY	新春狂言 万作・萬斎の世界
10	DANCE	バンジャマン・ミルピエ L.A. Dance Project
12	MUSIC	ピエール＝ロラン・エマール J. S. バッハ《平均律クラヴィーア曲集第1巻》全曲演奏会
14	MUSIC	新日本フィルハーモニー交響楽団 井上道義(指揮) 竹澤恭子(ヴァイオリン)
16	MUSIC	「次代へ伝えたい名曲」第3回 堀米ゆず子 ヴァイオリン・リサイタル 堀米ゆず子インタビュー
18	REPORT	2014ワークショップの夏
19	REVIEW	2014.7-8 彩の国のアート
20		イベント・カレンダー／チケットインフォメーション 彩の国シネマスタジオ
23		THEATER BRIDGE
24	COLUMN	彩の国 LOUNGE vol.13



COVER
彩の国さいたま芸術劇場 ロトンダ Photo ©小川重雄

SAITAMA ARTS THEATER PRESS 2014.9-10 No.53
編集◎市川安紀 [アルカディア社]、結城美穂子 デザイン◎中野一弘、鶴田大志、河西謙一 [bueno]

©公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団
Published on 15 September 2014 All Rights Reserved by Saitama Arts Foundation
※掲載情報は、2014年8月25日現在のものです。公演は追加および一部変更される場合がありますので、ご了承ください。

EVENT



11月3日
感謝を込めて

無料
開放!

彩の国さいたま芸術劇場

オープンシアター

開館20周年記念感謝祭

1994年に開館し、今年20周年を迎えた彩の国さいたま芸術劇場。
地域の皆さまをはじめ、劇場を支えてくださるすべての方々に感謝をこめて、
11月3日の文化の日に、劇場を無料開放する一大イベントを開催！
コンサートやダンスを楽しんでいただくもよし、
劇場スタッフ気分を味わったり、落語家気分になるもよし。
劇場内ツアーにレクチャー、ワークショップなどその他イベントも盛りだくさん。
ご当地グルメもとりそろえて皆さまをお待ちしています。



1 大ホール

劇場スタッフ体験

演劇やダンス公演を支える裏方の仕事にチャレンジ。音響、照明など劇場スタッフとして普段は気づかない舞台の魅力を体験！



Photo ©加藤英弘

開催時間：11:00～17:00
 参加方法：会場に直接お越しください(最終入場16:30)
 対象：小中学生
 ※参加者以外の見学可。

チラシ作りワークショップ

劇場で上演される公演の宣伝に欠かせない「チラシ」作りに挑戦！

開催時間：11:30 / 15:30
 講師：秋澤一彰(デザイナー)
 参加方法：各回開始30分前から会場にて受付(先着順)
 対象：小中学生(各回 30名)
 ※簡単な図画工作の作業を含むワークショップです。
 材料・道具は劇場にて準備しますので持参不要です。
 ※保護者の見学可。

2 小ホール

はじめての落語体験

さいたま市出身の落語家三遊亭ぬう生と共に、彩の国さいたま寄席と同じ舞台セットで楽しく落語体験！参加希望者は扇子を持参ください。

開催時間：11:30 / 14:30
 講師：三遊亭ぬう生
 参加方法：各回開始30分前から会場にて受付(先着順)
 対象：小中学生(各回 40名)
 ※参加者以外の見学可。



Photo ©小林万里

4 情報プラザ

光の庭プロムナード・コンサート 20周年記念スペシャル

『フェスタ!! ～貴方も私も風まかせ～』

オルガニスト、チェンバリストとして活躍中の廣澤麻美のパイプ・オルガンとコンドルズの近藤良平、安田有吾とのコラボレーション。14時の回は太陽の光降り注ぐ中で、日没後の17時の回は屋とは違った雰囲気の中、感謝祭のフィナーレを飾ります。

開演：14:00 / 17:00
 出演：廣澤麻美(オルガン)、近藤良平(ダンス)、安田有吾(書道)
 参加方法：どなたでもご参加できます。会場に直接お越しください。
 ※会場はオープンスペースです。定員はございませんが、座席にお座りいただけない場合もございます。予めご了承ください。



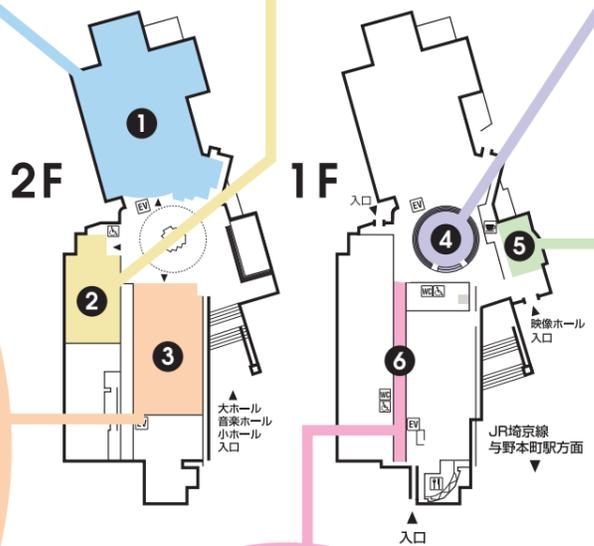
Photo ©加藤英弘

3 音楽ホール

アフタヌーン・コンサート 『劇音楽の黄金時代』

古楽アンサンブルによる「劇音楽」の名曲の数々。17世紀末、ロンドンの劇場で人気を呼んだヒット作品『乞食オペラ』など、コミカルで華やかな劇音楽の世界へようこそ。終演後に楽器の見学会もあり。

開演：13:00 / 16:00
 ※開場は開演の30分前
 出演：水内謙一(リコーダー)、パウル・エレラ(ヴァイオリン)、戸田薫(ヴァイオリン)、天野寿彦(ヴィオラ)、エマニュエル・ジラルル(チェロ)、村上暁美(チェンバロ)
 参加方法：会場に直接お越しください。
 ※定員に達した場合、お入りいただけない場合がございます。予めご了承ください。
 ※3歳未満のお子様のお入りはご遠慮ください。



6 ガレリア

20周年記念展示

彩の国さいたま芸術劇場で20年間に上演された公演の中から最近5年間を中心にご紹介。

開催時間：9:00～22:00
 ※9月23日(火祝)より展示中(休館日を除く)

5 映像ホール

映写機ワークショップ&上映会

映写機を使って映画をフィルムで上映体験します。アニメーション映画の上映もお楽しみに！



開催時間：11:15 / 15:45
 参加方法：各回開始15分前から会場にて受付(先着順)
 対象：小中学生(各回 20名)
 ※保護者の見学可。

彩の国レクチャー・シリーズ 「劇場と地域づくり」第2回 『“ご当地グルメ”で地域を元気に —新たな地域づくりの実践から2』

詳細は P.23参照
 開催時間：13:15～14:45
 ※事前申し込みが必要です。

●劇場見学ツアー

アーティストが立つ舞台上や、出番を待つ舞台袖、楽屋など、普段は見られない場所をご案内。劇場がもっと身近になる！

集合時間：11:10 / 12:10 / 13:10 / 15:10 / 16:10
 ※見学時間30分
 参加方法：どなたでもご参加できます。各回集合時間までに指定の場所にお集まりください。集合場所は当日館内に掲示します。各回 先着60名(30名×2組)
 ※動きやすい服装でご参加ください。
 ※階段や狭い通路の移動もごさいます。

●大階段「屋台村」

県内のご当地グルメを中心とした「屋台村」が出現！「埼玉日級ご当地グルメ王決定戦」上位入賞者による屋台、人気の県産品や新鮮野菜の販売も。



開催時間：10:30～16:00
 会場：劇場正面大階段およびシンボルタワー周辺
 ※雨天・荒天時は中止する場合がございます。
 出店(予定)：ゼリーフライ／和菓子【行田市】、みそポテト／豚もつみそ漬け焼【秩父市】、北本トマトカレー／そばコロッケ【北本市】、飯能すいーとん／味噌付けまんじゅう【飯能市】ほか

●劇場スタンプラリー

クイズに答えてスタンプをもらおう！ 秘密のキーワードで素敵な景品をゲット！

開催時間：11:00～17:00
 ※景品は数に限りがございます。

オープンシアター タイムスケジュール						
	大ホール	小ホール	音楽ホール	映像ホール	情報プラザ	大階段
11:00				映写機ワークショップ&上映会(60分)		劇場ツアー①(30分)
12:00	チラシ作りワークショップ(60分)	落語体験(60分)				劇場ツアー②(30分)
13:00	劇場スタッフ体験(随時)		劇音楽の黄金時代(45分) 楽器見学	レクチャー 劇場と地域づくり(90分)		劇場ツアー③(30分) 屋台村
14:00					光の庭プロムナード・コンサート SP(60分)	
15:00		落語体験(60分)				劇場ツアー④(30分)
16:00	チラシ作りワークショップ(60分)		劇音楽の黄金時代(45分) 楽器見学	映写機ワークショップ&上映会(60分)		劇場ツアー⑤(30分)
17:00					【フィナーレ!】光の庭プロムナード・コンサート SP	

からす 『鴉よ、おれたちは弾丸をこめる』

笈田ヨシ

さいたまゴールド・シアターを語る

ただ芝居をやるという 情熱さえあれば

ピーター・ブルック演出作品には欠かせない存在であり、俳優・演出家として世界を舞台に演劇活動続ける笈田ヨシ。昨年、蜷川幸雄率いるさいたまゴールド・シアターのパリ公演を観劇した笈田氏は、ゴールドという集団について何を感じたのか。

取材・文◎市川安紀



パリ公演（2013年）千秋楽カーテンコールの様子
Photo◎宮川舞子

素朴なエネルギー

昨年フランス・パリにて初の海外公演を敢行した、さいたまゴールド・シアター。パリ日本文化会館で『鴉よ、おれたちは弾丸をこめる』を観劇した笈田氏は、幕開きから舞台上に引き込まれたと語る。

「全員がアクリル水槽の中に入っている美しさにまず息を飲みました。それから法廷でお年寄りたちがピクニックを始めたり、服を脱ぎ出したり。驚きや意外性は芝居にとってとても必要で、ここでは単に奇をてらうのではなく、理屈を超えた真実味があるから納得できるんです。蜷川さんのマジックでしょうね。この作品の初演（1971年）当時は成田闘争を背景に時代性も色濃かったはずですが、40年以上経った今、日本人がパリケードを築くという行為に現実味はありません。でも、舞台には妄想と現実が入り混じったシュールリアリズム的美しさがあり、とても面白く拝見しました」

とりわけ、職業俳優にはない出演者たちの懸命さに心魅かれたという。

「役者というのは、“上手くやりたい”“お客にウケたい”なんて野心が顔にくっついてくるものです。ところがゴールドの皆さんは本当に一生懸命で、演じることを楽しんでいらした。その素朴な熱心さが素晴らしい

と思いました。パリ島の芸能でも職業ダンサーやミュージシャンではなく、普段は別に仕事を持っていて、お寺に供えるために舞い演奏しています。職業俳優とは目的が違うからこそ上手下手を超えた魅力があって、ゴールドの方々共通している気がします。蜷川さんは飾り物の美しさではなく、人間の生活感、年を重ねた人たちの群集の動きから生まれる美しさを狙っているんじゃないかなと。政治問題や社会問題を飛び越えた人間のエネルギーが舞台にあふれていて、素敵な作品でしたね」

今年は同作で3カ国5都市ツアーを行う予定だが、再び訪れるパリ公演では、パリを代表する公共劇場、パリ市立劇場（テアトル・ド・ラ・ヴィル）での上演が決定した。「少し前に劇場の芸術監督が若手の演出家に替わり、新しいエネルギーに満ちた公演に積極的な姿勢を示していますから、この作品はぴったりだと思います」

「今」を楽しむ極意

個々の人生の色合いがさまざまに混在する点もゴールドならではの特征といえる。「いわゆる俳優の生活というのは非常に世界が狭いんです。70歳の俳優が20人集まっても、その人生の積み重ねの色合いは知れ

ている。一方で、様々な社会で暮らしてきた方には俳優にはない社会生活の積み重ねがあり、それが何かしらにじみ出てくる。ひとりひとりの人間の歴史、生活が絡み合う編み目の美しさがあって、技術論は関係ないんですよ」

ゴールド団員の平均年齢は75歳を超えた。体力や記憶力との格闘でもあり、家族の健康など抱える事情もそれぞれだ。けれど彼らは口を揃えて「今が一番楽しい」と語り、努力することに喜びを見出す。

「普通は逆なんですよ。俳優としてある程度の年齢まで来ると、始めた時の夢が果たせなかったという無念さを抱える人が多いと思うんです。“ついに主役が出来なかった”なんてね。外国ではオペラの演出でもコーラスの扱い方に苦慮します。ほとんどはソリストとしてスタートした人たちで、“自分こんなつもりではなかった”と思っている。何かを創ろうという情熱があまりない人たちを見ていると悲しくなります。僕自身も文学座で芝居を始めた20歳そこそここの頃は、日本一の名優になれると思っていました。ある時靈感者に“あなたはスターにはならないが、人を助けることに長けている”と言われたことがあるんです。今はもうそんなことはどうでもよくなりましたけど、スターになれない自分を認めるという

のは時間がかかりますよね。ゴールドの方たちには、年輩の俳優が持つそうしたほろ苦さがない。だからこそ今を楽しめるんでしょうし、その姿が美しいのだと思います」

肩書きはいらない

私たちは何らかの属性に縛られ、あるいはそこに身を委ねることに安心して人生を送りがちだ。日本では定年後に「肩書き」が外れた途端、戸惑う男性も少なくない。

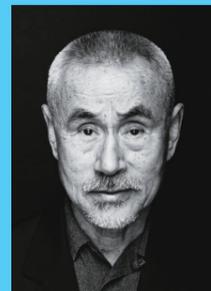
「僕が今幸せだと思うのは、肩書きなんて何もほしいと思わなくなったことです。単なる“ヨシ・オイダ”で構わない。俳優やディレクター、男か女か、若いかな寄りか、主婦か母親か……それはインフォメーションに過ぎません。ゴールドの方たちも同じかもしれないですね。ただ芝居をやるという情熱だけがあればいい。年齢と共に出来なくなることが増えた自分を素直に受け入れられるようになったのは幸せです。だから年を取って、悪くないですよ。

俳優という仕事は良い芝居をしてお客に喜んでもらうだけではなく、演ずるという行為によって自分自身を再発見できる、有り難い仕事だと僕は思っています。舞台では泣いたりわめいたりしている自分と、それを客観的に眺めている、俳優としての

う一人の自分が居る。それ故に日常生活でも無意識のうちに自分を客観的に見ているもう一人の自分を意識するようになりました。そのお陰で、毎日喜んだり悲しんだりしている自分がどういう人間かが見えて来たのです。自分を見ることによって生を受け入れ、己れを受け入れ、死の恐怖から乗り越えることが出来たと思っています。生活が、舞台のために役に立つのではなく、舞台が、生活のために役に立つのです」

笈田ヨシ

おいだ・よし
文学座、劇団四季を経て、1968年ピーター・ブルック演出『テンペスト』に出演。その後、フランス・パリを拠点に世界を漂流し、演劇活動を続ける。俳優、演劇・オペラの演出家として活躍するほか、若手俳優のワークショップにも積極的に取り組む。2013年フランス芸術文化勲章の最高位コマンドール受章。著書に『漂流俳優』ほか。



公演概要

さいたまゴールド・シアター

『鴉よ、おれたちは弾丸をこめる』

作：清水邦夫

演：蜷川幸雄

出：さいたまゴールド・シアター、さいたまネクスト・シアター

上演時間：約70分（休憩なし）

■香港公演 新視野芸術節 New Vision Arts Festival 2014 参加

日時：11月14日（金）開演20:00、15日（土）開演20:00、16日（日）開演15:00

会場：葵青劇院 演藝廳 Kwai Tsing Theatre Auditorium

お問い合わせ：Leisure and Cultural Services Department +852-2370-1044（平日8:45～13:00、14:00～18:00）

主催：康樂及文化事務署新視野芸術節

■東京公演 フェスティバル/トーキョー 14 参加

日時：11月23日（日）開演18:00、24日（月・祝）開演18:00、25日（火）開演19:30、26日（水）開演14:00

会場：にしすがも創造舎

チケット（税込）

全席自由（整理番号付）一般4,000円（当日4,500円）ほか

発売日：9月28日（日）

※SAF チケットセンターでの取扱いあり（一般4,000円のみ）。

※《先行割引》9/20（土）～27（土）期間中、F/T チケットセンター 03-5961-5209のみで前売りチケットを30%OFF（2,800円）で販売いたします。SAF チケットセンターで先行割引の取扱いはございませんのでご了承ください。

お問い合わせ：フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局03-5961-5202

主催：フェスティバル/トーキョー

■パリ公演

日時：12月8日（月）開演20:30、9日（火）開演20:30、10日（水）開演20:30、11日（木）開演20:30、12日（金）開演20:30

会場：パリ市立劇場 Théâtre de la Ville

お問い合わせ：パリ市立劇場 +33-1-42-74-22-77（月～土11:00～19:00）

主催：パリ市立劇場

■豊橋公演

日時：12月20日（土）開演14:00、21日（日）開演14:00

会場：種の国とよはし芸術劇場 PLAT 主ホール

お問い合わせ：種の国とよはし芸術劇場 PLAT 0532-39-8810

主催：公益財団法人豊橋文化振興財団

共催：豊橋市

後援：CBC ラジオ

■川越公演

日時：12月27日（土）開演15:00、28日（日）開演14:00

会場：川越市市民会館やまぶき会館 中ホール

チケット（税込）

全席指定4,000円 メンバース3,600円

発売日：一般10月4日（土）、メンバーズ9月27日（土）

主催：公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団

共催：公益財団法人川越市施設管理公社、川越市

彩の国シェイクスピア・シリーズ番外編
ニナガワ×シェイクスピア レジェンド第2弾
蜷川幸雄80周年記念作品

『ハムレット』 新演出上演決定!

蜷川幸雄8度目の挑戦

8月の『ロミオとジュリエット』に続き、蜷川幸雄の伝説的シェイクスピア作品を上演する企画の第2弾『ハムレット』が登場する。蜷川にとっては8度目の新演出となり、2015年に80歳を迎えるメモリアル・イヤーの幕開きを飾る注目作だ。

タイトルロールには、2003年、日本演劇史上最年少の21歳で同役を演じて以来2度目となる藤原竜也が12年ぶりに挑むことでも話題を呼んでいる。オフィーリアには蜷川作品初参加となる若手実力派の満島ひかり、兄レアティーズには満島ひかりの実弟で蜷川作品が続く満島真之介、そし

てハムレットの母ガートルードに華と風格を兼ね備えた鳳蘭、叔父クロディアスには日本を代表する名優・平幹二郎と、現在望みうる最高のキャストが顔を揃えた。

彩の国さいたま芸術劇場では、2005年、彩の国シェイクスピア・シリーズ第11弾として上演した市村正親主演版、2012年、演歌歌手こまどり姉妹が登場して観客の度肝を抜いた、さいたまネクスト・シアター版に続く3度目の上演となる。

国内公演後には、台湾、ロンドンでの公演も決定している。「蜷川×藤原ハムレット」が世界を席卷する日が待ち遠しい。

公演概要

YUKIO NINAGAWA 80TH ANNIVERSARY
NINAGAWA×SHAKESPEARE LEGEND II
『ハムレット』

日 時：2015年1月22日(木)～2月15日(日)

1月	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
13:00			★	★		★			★	
14:00					休演		★	★	★	
18:30	★	★	★			★				★

2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
13:00	★		★			★	★	★		◎				★	★
14:00		休演	★	★	★				休演		★	★	★		
18:30			★		★					◎				★	

◎：映像収録のため場内にカメラを設置します。

会場：彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

演出：蜷川幸雄

原作：W.シェイクスピア

翻訳：河合祥一郎

出演：藤原竜也、満島ひかり、満島真之介、横田栄司、山谷初男、たかお鷹、鳳蘭、平幹二郎 ほか

チケット(税込)

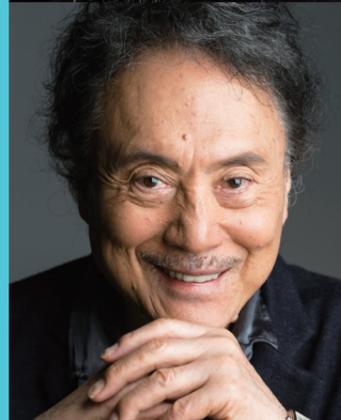
一般・メンバーズ：S席10,800円/A席8,700円

U-25 (25歳以下対象/平日公演A席対象/劇場のみ取扱/要身分証明書)：5,000円

※本公演はメンバーズ料金の設定はございません。

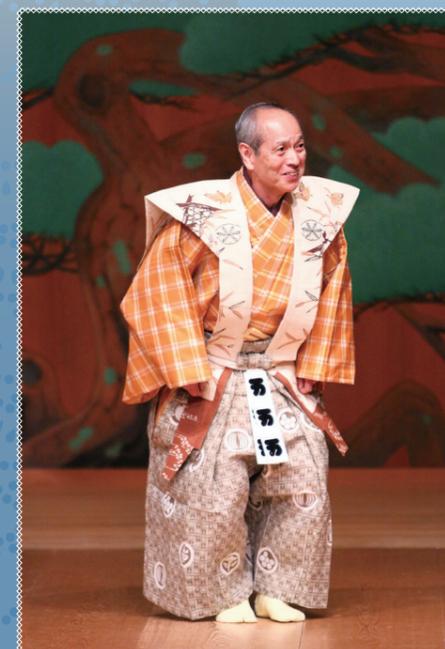
発売日：一般10月4日(土) メンバーズ9月27日(土)

※メンバーズプレオーダー(抽選)は終了しました。



今も昔も変わらぬ
庶民の姿

Photo ©政川慎治



『咲嘩』

『悪太郎』

新春狂言 万作・萬齋の世界

野村万作・萬齋による新春狂言が3年ぶりに埼玉会館に登場。

人間の姿をあらゆる角度から捉える古今東西の演劇の中でも、日本の伝統芸能・狂言は、ささやかな庶民の日常を「笑い」を通して切り取ってきた。いわゆる「爆笑喜劇」ばかりが喜劇にあらず。ドジだったりズルかったり、欲をかいいたり、悪事がバレて懲らしめられたり。狂言が描く笑いのツボは、「ああ、人間ってそういうところあるよね」と、わが身や周囲を振り返りつつ苦笑してしまう親近感にある。主人公はたいていがしががない一般人で、多くは名前もない。我々庶民の代表として、ぼのぼのとしたユーモアの中に人生の哀感をにじませ、時に鋭く人間の本質を突く。人間観察にはうってつけなのだ。

『咲嘩』では連歌の師匠を頼むため、都の伯父を探そう主人に言いつけられた太郎冠者(野村万作)が、間違えて「見乞の咲嘩」と呼ばれる有名な盗人を連れ帰ってしまう。主人は何とかして盗人を追い返そうとするが、あまりにも素直な太郎冠者のせいで事態はややこしいことに……。盗人本人に向かって「有名な盗人なんだっ

て?」(意識)なんて言ってしまう太郎冠者のおとぼけぶりが微笑ましいが、この狂言においては「言葉を十分に味わっていただくように演者は心がけなくてはけません」と万作。「狂言はまず美しく、次に面白く、最後におかし」という姿勢を貫く人間国宝・野村万作の、滋味深い至芸を堪能したい。

一方『悪太郎』は、その名の通り乱暴者の悪太郎(野村萬齋)が、改心して悟りをひらくまでを描く。さんざん酔っ払い、長

刀を振り回して伯父を脅すという手のつけられない不良青年に、いったい何があったのか? 万作によれば「萬齋の悪太郎は奔放なワルです。酔っ払い方もかなり大胆にやりますから、今の観客に非常に身近だと思いますよ」とのこと。このふたつの演目で、親子であっても異なる芸質を楽しめるのが嬉しい。

当日の開演前には、約1時間の狂言講座も開催。その後の狂言がより深く楽しめるようになること請け合いだ。

公演概要

新春狂言 万作・萬齋の世界

日 時：2015年1月24日(土) 開演15:00

会場：埼玉会館 大ホール

出演：野村万作、野村萬齋、石田幸雄、深田博治、高野和憲、月崎晴夫、内藤連、飯田豪

演目：『咲嘩』、『悪太郎』

チケット(税込)

一般：S席5,000円/A席4,000円/B席3,000円

メンバーズ：S席4,500円/A席3,600円/B席2,700円

U-25 (25歳以下対象/B席対象/劇場のみ取扱/要身分証明書)：2,000円

発売日：一般10月11日(土) メンバーズ10月5日(日)

■開演前に狂言講座を開催!

日時：1月24日(土) 開演13:00 (12:30開場) ※約1時間予定

出演：深田博治、月崎晴夫、内藤連

※1月24日公演のチケットをお持ちの方はどなたでもご参加いただけます。

※狂言講座終了後、公演準備が整うまで一旦客席よりご退場いただきます。



野村万作



野村萬齋

バンジャマン・ミルピエ L.A. Dance Project

待望の初来日! ミルピエに導かれた バレエの現在



今バレエ界で最も注目を集める振付家バンジャマン・ミルピエ。彼が2012年に設立したカンパニーL.A. Dance Projectが11月に彩の国にやってくる。今回は、自身のダンス体験の始まりをアフリカン・ダンスとし、ジェローム・ロビンズに見出され入団したニューヨーク・シティ・バレエ (NYCB) 時代を経て、今秋パリ・オペラ座バレエ団の芸術監督に抜擢されたミルピエとは何者なのかを探るとともに、NYCB現役時代の彼をよく知る上野房子氏に、彩の国での上演作品について解説してもらった。

Photo © Morgan Lugo

バンジャマン・ミルピエとL.A. Dance Projectとは

アフリカ、フランス、アメリカ、そして バレエの殿堂パリ・オペラ座へ

1977年にボルドーで生まれたミルピエは、幼少期の一時期セネガルで育ち、アフリカン・ダンスとコンテンポラリーダンスの教師であった母親からダンスの手ほどきを受けた。バレエ・ダンサーとしての確固とした地位を持つミルピエだが、自身のダンス体験の始まりはアフリカン・ダンスだと自らも語っている。フランスに戻ったミルピエはリヨン国立高等音楽院に入学、ここでバレエの基礎を磨いた。92年の夏渡米し、ニューヨーク・シティ・バレエ附属バレエ学校にて研修を受け、翌年には仏外務省から奨学金を得て同校に入学。そして、『ウェスト・サイド・ストーリー』や『屋根の上のヴァイオリン弾き』などで知られる振付家ジェローム・ロビンズに見出され、95

年にNYCBに入団、ダンサーとしての輝かしいキャリアを築いていく。2001年にはプリンシパルに昇りつめ、11年の退団まで、バランシン振付『アゴン』、『ジュエルズ』の「ルビー」や、ロビンズ振付『インザ・ナイト』などの数々の作品で主要パートを務めた。来日公演で彼の姿を観た人も多いだろう。こうしたダンサーとしての活動と平行して、NYCB、アメリカン・バレエ・シアター、マリンスキー・バレエ、そして今秋芸術監督に就任するパリ・オペラ座バレエ団など名だたる名門バレエ団に作品を次々と提供し、振付家としての才能も開花させる。2010年にはナタリー・ポートマン主演映画『ブラック・スワン』で振付を担当、自身も出演したことで、彼の名はバレエ界を超えて一躍世界に知られることとなる。そして35歳の若さでパリ・オペラ座バレエ団次期芸術監督

に抜擢され、今秋いよいよ就任となる。今や世界のバレエ界から注目を一身に集めているアーティストがミルピエなのだ。

ロサンゼルスでのミルピエの挑戦

今回初来日するL.A. Dance Projectはミルピエがロサンゼルスで設立した新星クリエイター集団。個性的な存在感を持った優秀なダンサーをはじめ、ミルピエを筆頭に気鋭の振付家、美術家、作曲家など、作品を創る毎に異分野の瑞々しい才能が結集しているのが特徴だ。まだ若いカンパニーながら、パリのシャトレ座やロンドンのサドラーズ・ウェルズ劇場などといった老舗劇場のパートナーとなるなど、ミルピエのパリ・オペラ座での活動とともに、世界中から期待を寄せられている。

L.A. Dance Project

上演する作品について

文◎上野房子

ジョージ・バランシンの作品を踊るべく入団したニューヨーク・シティ・バレエで出会ったジェローム・ロビンズを師と仰ぎ、爽やかな美形ダンサー・若手振付家として頭角を現したバンジャマン・ミルピエ。しかし今日、L.A. Dance Projectを率いる彼を、〈抽象的・バレエの二大巨匠、バランシンとロビンズの衣鉢を継ぐ振付家〉と一括することはできない。

たしかにバランシン同様、ミルピエも音楽の機微を細やかに振付で描き出す。ロビンズ同様、手に手を取って踊る男女を洒脱に、時にシニカルに描いてみせる。けれども、ミルピエが軸足を置いているのは、偉大な先達が経験したことのない21世紀の、“いま”。広範な分野のアーティストと共に創作することを活動の指針に掲げており、今秋、日本に初目見えする『リフレクションズ』はその典型だ。

デイヴィッド・ラングのバラード風ピアノ曲が流れ、幾つかの英語のフレーズを大書した、シンプルかつ強烈なインパクトを放つパーバラ・クルーガーの美術に彩られた舞台上、巧者揃いのダンサーが縦横無尽に踊る。男女が拮抗するデュエット。コミカルな捻りの効いたソロ。男女ないし同性同士がぶつかり合う群舞。バレエ特有のしなやかさ、コンテンポラリー・ダンスならではのダイナミズム、あるいは日常のひとつまから切り取った仕草がちりばめられている。一連の情景は声高ではないが、かといって寡黙ではない。切なさや緊迫感が絶妙の匙加減で浮かび上がり、見る者を惹き込んでいく。バランシンとロビンズという鋳型に束縛されない自由を、ミルピエは手に入れたのだ。

L.A. Dance Projectは、ミルピエ作品以外の新旧作品を創作・再演するレパートリーカンパニーでもある。

『モーガンズ・ラスト・チャグ』は、イスラエル出身の振付家エマニュエル・ガットが

同プロジェクトのために創作した2013年の近作。ダンサーの身体は拡散し、偏在し、現実とも虚構ともつかない時空を生み出す。

『クインテット』は、1993年にウィリアム・フォーサイズがフランクフルト・バレエで発表した作品。同プロジェクトでの再演にあたり、フォーサイズ自身が改訂しているが、体の重心を限界まで傾け、フロアをかすめる彼特有の語調は健在だ。バレエの概念を覆した往時の代表作を、ミルピエが古典的演目として取り上げたことが興味をひく。

パリ・オペラ座バレエ団芸術監督就任を目前に控え、快進撃を続けるミルピエの“いま”を見届けたい。

上野房子 / ダンス評論家。ニューヨーク大学ダンス学部大学院でダンス史・評論を専攻、修士号取得。アメリカン・ダンス、殊に振付家ジョージ・バランシンのスペシャリストとして、共同通信、音楽舞踊新聞ほかに公演評などを執筆している。明治大学および明治学院大学講師。訳書に『バランシン・テクニック』、『インサイド・バレエテクニック』(共に大修館書店)、『International Dictionary of Modern Dance』(St. James Press)に寄稿。

『リフレクションズ』
Photo © Laurent Philippe



『クインテット』
Photo © Ryan Schude

『モーガンズ・ラスト・チャグ』
Photo © Laurent Philippe



公演概要

彩の国さいたま芸術劇場開館20周年記念 バンジャマン・ミルピエ L.A. Dance Project

日時: 11月8日(土) 開演15:00 9日(日) 開演15:00
会場: 彩の国さいたま芸術劇場 大ホール
上演作品: バンジャマン・ミルピエ振付『リフレクションズ』
エマニュエル・ガット振付『モーガンズ・ラスト・チャグ』
ウィリアム・フォーサイズ振付『クインテット』
出演: L.A. Dance Project

チケット(税込) 好評発売中
一般: S席6,000円/A席4,000円 メンバーズ: S席5,400円/A席3,600円
U-25 (25歳以下対象/枚数限定/要身分証明書): S席3,000円/A席2,000円

Pierre-Laurent Aimard

Photo © Marco Borggreve/DG



文◎片桐卓也(音楽ライター)

あるフランス在住のピアニストが、エマールについてこんな風に言ったことがある。「とにかく、なんでも弾ける人、それも常に最高のレベルで」。まったくその通りだと思うし、同業者にとっては、同じ楽器を扱っているのに、どうして彼だけがあんなに自由自在に弾く事ができるのだろう、と不思議と憧憬が混じりあったような想いを抱くことになる。

ピエール＝ロラン・エマール(1957～)はフランス、リヨン生まれ。パリ音楽院で学び、19歳の時に、作曲家ピエール・ブレーズが主宰する現代音楽専門の凄腕演奏家集団アンサンブル・アンテルコンタンポランのソロ・ピアニストに起用された。そ

れ以降の活躍ぶりは書き尽くせないほど。特に現代音楽の巨匠であるリゲティの作品の最高の演奏者として、リゲティ作品の録音に加わり、また作曲家から練習曲を献呈されている。それだけでも凄いことだ。

こう書くと、テクニック優先の冷たい感じのピアニスト、と思われそうだが、エマールの演奏はそうではない。作品全体を見通しながら、ひとつひとつの音にも温かな命を与えて行く。楽譜に書かれた音は、単なる音としてではなく、作品という生命体を弾むように動かす力となる。それゆえエマールの演奏では、どんな作品も独自の顔と表情を持つようになる。そんな感じがあるのだ。

エマールだけにしかできないプログラム

ここ数年は、日本でも数々の演奏会を行ってきた。エマールだけにしかできないような、現代曲の小品をコラージュしたコンサート、リスト生誕200年を祝うコンサート、そしてドビュッシーとアイヴスを並べたコンサートなどなど。ピアノのためのあらゆる作品から、自由に選んで並べたような、その作品への目配りの広さは意外性に富んでいて、同時に演奏も素晴らしい。

近年の録音ではJ. S. バッハの作品にも取り組んでいる。《フーガの技法》はバッハ最晩年の作品で、バッハのフーガ技法の究

歴史的傑作 《平均律》に 新しい光をあてる エマール

11年ぶりに彩の国に戻って来るピエール＝ロラン・エマール。オリジナリティあふれるコンサートを次々と披露してきた彼が今回挑むのは、《平均律クラヴィア曲集第1巻》の全曲演奏という大変な集中力を要する果敢な試みだ。

極の形がそこに表現されていると言われるが、その《フーガの技法》を見事なまでに彫琢された音で、エマールは録音している。その過程はドキュメンタリー映画『ピアノマニア』(2009年)の中で観ることができるので、関心のある方はぜひ一度、この映画を観ていただきたい。ひとつの音へのこだわりを調律師とピアニストが共有しながら、音のゴールを目指す。その過程はまるでミステリーのようにスリリングでもあった。

歴史的な傑作としての《平均律》

さて、そのエマールが彩の国さいたま芸術劇場音楽ホールで、なんとJ. S. バッハの大作《平均律クラヴィア曲集第1巻》全曲を演奏することになった。例えば《フー

ガの技法》がフーガ技法の極みへの挑戦、《ゴルトバルク変奏曲》が変奏技法の頂点とすれば、もうひとつの大作である《平均律》は、バッハの鍵盤楽器作品の集大成とも言えるものだ。

「平均律」というのはちょっと誤解を招きやすい翻訳だが、英語では「well-tempered」と訳されている。長短24の調性の、どの調でも演奏することができるように「良く調律された」、という意味を持っている。バッハの生きていた時代には、鍵盤楽器には様々な調律法があり、また演奏する調性によって調律を替えて演奏していた。調性ごとに調律をし直すのはかなり不便なので、それが不要のない調律法が求められていたのだが、それが「平均律」の意味である。

バッハはこの作品をそれぞれの調ごと



Photo © Felix Broede/DG

ピエール＝ロラン・エマール(ピアノ)
Pierre-Laurent Aimard

現代音楽の旗手であり、古典作品の奏者としても超一流の現代最高のピアニスト。カーター、ブレーズ、リゲティ、シュトックハウゼンらと深い関係を築き、明晰なピアニズムで彼らの楽曲をクリアにアピールしている。カーネギー・ホールやルツェルン・フェスティバル等に招かれ、ベルリン・フィル、ロンドン響、コンセルトヘボウ管、シカゴ響等と共演。2009年よりオールドバラ音楽祭芸術監督。CDも数多く、J. S. バッハ《フーガの技法》はティアバソン金賞、米国iTunesクラシックのチャート1位など大評判をよんだ。

に、前奏曲(プレリュード)とそれに続くフーガという形で構成した。例えば《平均律第1巻》第1曲の前奏曲はハ長調のアルペジオ的な音型で書かれている。後にフランスの作曲家グノーがそこにメロディを付けて《アヴェ・マリア》としたのは有名だ。前奏曲はそれぞれの調によってかなり個性が違い、またフーガも3声から5声と、違った内容を持っているのが興味深い。

そして、バッハの後輩となる作曲家たちもこの《平均律クラヴィア曲集》から多くのインスピレーションを得た。特に有名な作品にはショパンの《24の前奏曲》、ショスタコーヴィチの《24の前奏曲とフーガ》がある。個人的な前奏曲の数々は、おそらくショパンだけでなく多くの作曲家に影響を与えている。そういう意味では、音楽史的にも重要な作品と言える。

その《平均律》をどんな風に表現するか。現代のピアニストたちにとっても、それは大きな挑戦である。グレン・グールドの例を出すまでもないだろう。そしてエマール。彼の《平均律》はどんな世界となるのだろうか。それはピアノ音楽ファンだけでなく、すべての音楽ファンにとっても好奇心を刺激されるコンサートとなるだろう。

公演概要

ピエール＝ロラン・エマール J. S. バッハ《平均律クラヴィア曲集第1巻》全曲演奏会

日 時：10月4日(土) 開演15:00
※演奏者の強い希望で、途中休憩が入ることとなりました。
会 場：彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
曲 目：J. S. バッハ《平均律クラヴィア曲集第1巻》BWV846～BWV869

チケット(税込) 好評発売中
一 般：正面席6,000円
メンバーズ：正面席5,500円
※バルコニー席・学生席は予定枚数終了しました。

珠玉のブラームス・プログラムで オーケストラとヴァイオリンの 競演を楽しむ

巨匠、井上道義の指揮による新日本フィルと、ソリストとして世界中で活躍するヴァイオリニスト竹澤恭子による洗練されたブラームスの作品を楽しめる演奏会。三大ヴァイオリン・コンチェルトのひとつとされる、《ヴァイオリン協奏曲 二長調》とブラームスの「田園交響曲」と言われる《交響曲第2番 二長調》、聴き応えのある大曲を心ゆくまで楽しみたい。

文◎飯尾洋一(音楽ライター)

「三大B」とは

クラシック音楽の「三大B」といえば、バッハ、ベートーヴェン、ブラームス。それぞれBで始まる三人の大作曲家の名前が挙がる。

いずれもドイツの作曲家ばかりで、ドイツ音楽を好む日本人にとっては納得のゆく人選だろう。

しかし「三大B」という呼び方は日本だけで広まっているものではない。英語圏でもバッハ、ベートーヴェン、ブラームスをまとめて“The Three Bs”と呼んで

いる。

この「三大B」を最初に提唱したのは、19世紀ドイツの名指揮者ハンス・フォン・ビューロー。ビューローはブラームスより3歳年上の指揮者兼ピアニストで、ブラームスと親交を結んでいた。彼は同時代人の作曲家であるブラームスが、過去の偉大な作曲家バッハやベートーヴェンと同じように、たぐいまれな存在であるということを伝えようとして、キャッチーな「三大B」という呼び方を考えたのだ。

ビューローの企みがもの見事に成功

を収めたことは、21世紀の日本でも「三大B」の呼び名が生きていることで証明されている。ブラームスを売り出すための「三大B」は、今やもっとも偉大な作曲家三人をあらわす言葉であるかのように受け入れられている。

そのブラームスの二大傑作が、11月の井上道義指揮新日本フィルハーモニー交響楽団の公演で演奏される。ヴァイオリン協奏曲と交響曲第2番。いずれも作曲者が旺盛な創作力をみなぎらせて、充実した時を過ごしていた時期の代表作である。日本を代表するソリストとして国

際的に活躍する竹澤恭子のヴァイオリンと、意欲的な活動を展開するベテラン井上道義と新日本フィルという強力な演奏者陣が、作品の魅力を存分に伝えてくれることだろう。

今回演奏される2作品は いずれもブラームスの代表作

ブラームスのヴァイオリン協奏曲は1878年の作曲。一方、交響曲第2番はその前年、1877年に書かれている。ともに作曲家40代半ばの作品ということになるが、この両者が組合わされているのは、単に作曲年代が近いということだけではなく、両曲に透けて見えるキーワードは、「自然礼賛」と「偉大なる先人ベートーヴェン」といったところ。ブラームスは交響曲第1番を書くまでに着想から20年もの時間を要している。しかし、続く交響曲第2番はあたかも「交響曲を書く」というプレッシャーから解放されたかのように、ひと夏の間に一気に書き上げられている。

1877年、ブラームスはオーストリアのヴェルター湖畔の景勝地ベルチャハで夏を過ごした。アルプスの山並みを遠望する風光明媚な小さな町をブラームスは大いに気に入り、以後3年間、ベルチャハは夏の仕事場となった。夏の陽に輝く青い湖と澄んだ空気は、作曲家のインスピレーションの源となったにちがいない。のびやかな楽想があふれ、牧歌的な雰囲気横溢するこの作品は、しばしばブラームスの「田園交響曲」と形容される。

翌1878年の夏、ブラームスはイタリア旅行を経て、ふたたびベルチャハに腰を落ち着けて、作曲に勤しんだ。ここで誕生したのがヴァイオリン協奏曲である。ここでもやはりベルチャハの自然が作曲者を触発したのか、広々とした田園地帯を思わせるような雄大さと自然賛歌の精神が作品からしみ出ている。



Photo © Tetsuro Takai

竹澤 恭子 (たけざわ・きょうこ) / ヴァイオリン

1986年インディアナポリス国際ヴァイオリン・コンクールで優勝、以来国際的スターダムを昇り続けている。これまで、ニューヨーク・フィル、シカゴ響、ロンドン響等世界の主要オーケストラと共演。室内楽、リサイタルにおいても、アスペン、ルツェルンといった世界的な音楽祭や主要ホールで活躍している。使用楽器は、NPO法人イエロー・エンジェルよりアントニオ・ストラディヴァリウス、「ヴィオッティ」(Viotti / 1704年製)を貸与されている。バリ在住。



Photo © Orchestra Ensemble Kanazawa

井上 道義 (いのうえ・みちよし) / 指揮

東京生まれ。桐朋学園大学卒業。ニュージーランド響首席客演指揮者、新日本フィル音楽監督、京都市響音楽監督兼常任指揮者を経て、2007年よりオーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督、ならびに石川県立音楽堂アーティストック・アドバイザーを務める。2010年「京都市文化功労者」を受賞。ラ・フォル・ジュルネ金沢を含む多くの実験的企画を敢行し続けている。2014年4月より、大阪フィルハーモニー交響楽団の首席指揮者に就任。

公演概要

新日本フィルハーモニー交響楽団 井上道義(指揮) 竹澤恭子(ヴァイオリン)

日 時：11月29日(土) 開演 15:00
会 場：埼玉会館 大ホール
曲 目：ブラームス/ヴァイオリン協奏曲二長調 作品 77
ブラームス/交響曲第2番二長調 作品 73

チケット(税込) 好評発売中
一 般：S席6,000円/A席5,000円/B席4,000円(学生2,000円)
メンバーズ：S席5,500円/A席4,500円/B席3,600円
※当初、予定していたプレトークは中止となりました。

埼玉会館のためのプログラム

もう一つのキーワード、先人ベートーヴェンからの影響については、同じ井上道義が2012年6月に埼玉会館でNHK交響楽団を指揮した際に、ベートーヴェンの交響曲第6番「田園」とヴァイオリン協奏曲というプログラムを組んでいたことを思い出したい。今回はその姉妹編ともいべきプログラムといえるだろう。ブラームスの交響曲第2番が「ブラームスの田園交響曲」とたとえられるのは、その前提として交響曲第1番がベートーヴェンの交響曲の衣鉢を継ぐものであ

たから。そしてブラームスのヴァイオリン協奏曲もまた、ベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲の後継者たる作品を目指したものといえる。独奏者の華麗な技巧をひけらかすための協奏曲ではなく、古典的な形式のなかで端正で壮麗な音楽を築こうとするこの作品は、まさに「三大B」の一角にブラームスの名を連ねるにふさわしい傑作である。

バッハ、ベートーヴェンに続く、三人目の「B」。古典音楽を信奉しながら、ロマン主義の時代に大きな足跡を残した偉才の傑作を、晩秋の埼玉会館でじっくりと味わいたい。



Photo © K.Miura

The Brahms Program

大切なことですよ
演奏会の半分の成功を担うぐらい
プログラムを選ぶのは

「次代へ伝えたい名曲」第3回 堀米ゆず子

「次代へ伝えたい名曲」シリーズもいよいよ第3回。今回はヴァイオリニスト堀米ゆず子が登場する。このシリーズに出演するため、たった一日のコンサートのためにどれほど深く、思いを込めてプログラムを組み、公演に臨もうとしているのか。堀米の真摯な姿を本人のコメントから感じていただきたい。

Photo © T.Okura



文◎奥田佳道 (音楽評論家)

作曲家の意図したものが
お客様に伝わりますように

心あるトップアーティストの“口ぐせ”をご紹介させていただく。「曲目を提出した時から演奏は始まっているのです」。

EUの「首都」ブリュッセルを拠点に創造の翼を広げる堀米ゆず子も「プログラムを選ぶのは演奏会の半分の成功を担うぐらい大切なことです」という真摯な言葉で、さいたまのステージへの想いを語り始めた。

「美しさと陰影。構成力を持ちつつ、あくまでピュアな音楽というのが私のコン

セプトです。私がヴァイオリンを使って『音になりきる』ことによって、作曲家の意図したものが皆様に伝わりますように」賛辞は尽くされている。1980年、ブリュッセルで開催されたエリーザベト王妃国際音楽コンクール優勝で脚光を浴びて以来、堀米は内外のステージで音楽の喜びを紡いでいる。協奏曲、リサイタル、室内楽、それに後進の指導。いずれも素晴らしい。

2010年1月には、広上淳一指揮のNHK交響楽団定期公演でベートーヴェンの協奏曲を弾き、その気高い演奏はN響のお客様が選ぶ「最も心に残ったソリスト

2010」の第1位に選ばれている。実は、体調を崩して来日できなくなったドイツ人ヴァイオリニストの急なピンチヒッターで、公演の数日前に堀米の出演が決まったのだった。よくぞ彼女のスケジュールが空いていたものである。ベートーヴェンの演奏後、「今夜バリに寝つんです。広上さんのおかげでいい演奏会になりましたね。彼とはたくさん共演しています。確か……」

昔話をお許しいただければ、二人は1991年夏、ウィーン・コンツェルトハウスでモーツァルトを演奏している。オーケストラはウィーン交響楽団。その時は

マエストロがピンチヒッターだった。

声高に申すまでもなく、現代最高峰の音楽家である。2003年以降モーツァルト、ベートーヴェンのソナタ連続演奏で聴き手に感銘を与えるとともに、シューベルト、フランス音楽の花束、東欧の調べ、近現代日本の逸品に愛を寄せてきた。

演奏する作品、それぞれに込めた思い

「今回弾くモーツァルト、ドビュッシー、三善晃、フランクの音楽は、すべて次の世代へ伝えるべく書かれた作品と言えます。そんな名曲を並べました」。

開演を彩るのは、モーツァルトが楽都

ウィーンで紡いだ二重奏芸術の昇華、ソナタ 変口長調 KV 454である。モーツァルトは1784年春、マントヴァからやってきた才媛ヴァイオリニスト、ストリナザッキのためにこのソナタを書き、皇帝臨席の公演で披露したようである。

「モーツァルトのKV 454は、数ある彼のヴァイオリン・ソナタの中でも、稀に見る大きな作品です。変口長調 (B-dur 五線譜にb記号2つ) という荘重な調性、序奏から始まり軽快な第1楽章、深淵な世界を覗き見るがごとく調性が変わってゆく素晴らしい第2楽章、そしてロンドのスタイルのなかに毎回変わる遊び (divertissement) がある第3楽章。展開の

妙、コーダ (終結部) の素晴らしさ、難しさはモーツァルトならではの世界です」ドビュッシーへの想いも尽きない。この作曲家が最後に書きあげたソナタ (1917) も十八番である。

「モーツァルトが変口長調 B-dur で終わりますから、次は関係調のト短調 g-moll (ト短調は変口長調の平行調で、やはり五線譜にb2つ) によるドビュッシーです。時に華々しく、しかし物悲しくもあります。波のうねりのような、また悪ふざけをする子どものようでもありますね。様々な情景を皆さん想像して下さい」

昨年天に召された三善晃 (1933～2013) の芸術とも深い絆で結ばれている。三善の、研ぎ澄まされた筆致が際立つ『鏡』(1981) は、来たるライヴの好ましいアクセントとなる。

「桐朋学園の学生時代、先生は学長でしたし、和声のみならず、ルナールの博物誌の講義も受けました。ちくりとした人間風刺に、豊かな人生体験に基づく含蓄あるお話……。今でも目に浮かびます。曲のタイトル『鏡』の意味は、自他对他者。歌とリズムなど、すべてが対話になっているのです。奥深く、広い宇宙を感じます」

プログラムを締めくくるのは、美しき調べも骨太な構成も聴き手を捉えて離さないベルギー！ 出身の作曲家フランクの人気ソナタ (1886)。フランクが、ずっと年下の友人で歴史的なヴァイオリニスト、イザイの結婚式に贈った傑作である。思わずほほ緩む選曲だ。

「豊富な和声、力強いバス (低音)、たくましい構成力。その音楽は、出逢い、嵐、静けさ、再会のような。結婚生活も暗示させますね」

仙台国際音楽コンクール優勝で檜舞台に名乗りを挙げたピアニスト、津田裕也との交歓も今リサイタルの大いなる聴きどころとなる。

「長いお付き合いです。最初、私の生徒のピアニストとして出逢いました。教えること教えること、砂に水が染み入るように吸収してくれて嬉しかったです」

堀米ゆず子、津田裕也の環に抱かれたものである。



堀米ゆず子 (ほりごめ・ゆずこ) /ヴァイオリン

1980年エリーザベト王妃国際音楽コンクールで日本人初の優勝を飾って以来、ベルリン・フィル、シカゴ響、小澤征爾、ラトルなど世界一流のオーケストラ、指揮者との競演を重ねる。アルゲリッチ、マイスキーなど共演者も多彩で、室内楽にも熱心に取り組んでいる。2013年秋からは室内楽シリーズ「堀米ゆず子パツハ/ブラームス プロジェクト全6回」を3年がかりで開催。ヴァイオリンを久保田良作氏、江藤俊哉氏に師事。現在、ブリュッセル王立音楽院教授。使用楽器は、ヨゼフ・ガラルネリ・デル・ジェス (1741年製)。
Photo © T.Okura



津田裕也 (つだ・ゆうや) /ピアノ

東京芸術大学および同大学院修士課程を経て、現在ベルリン芸術大学国家演奏家コースに在籍。2007年第3回仙台国際音楽コンクールにて第1位。2011年ミュンヘン国際コンクール特別賞受賞。リサイタル、オーケストラとの共演、室内楽活動の各分野で活躍。ドヴァイヨン、タッキーノ、ゴールドベルク山根美代子、角野裕、渋谷るり子各氏らに師事。
Photo © Christine Fiedler

公演概要

彩の国さいたま芸術劇場開館20周年記念
彩の国さいたま芸術劇場シリーズ企画「次代へ伝えたい名曲」
第3回 堀米ゆず子 ヴァイオリン・リサイタル

日 時：2015年1月10日(土) 開演14:00
会 場：彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
出 演：堀米ゆず子 (ヴァイオリン)、津田裕也 (ピアノ)
目：モーツァルト/ヴァイオリン・ソナタ第40番 変口長調 KV 454
ドビュッシー/ヴァイオリン・ソナタ
三善晃/ヴァイオリンのための鏡
フランク/ヴァイオリン・ソナタ イ長調

チケット(税込) 好評発売中

一般：正面席4,000円/バルコニー席3,000円(学生1,500円)
メンバーズ：正面席3,600円



ワークショップの夏

この夏、彩の国さいたま芸術劇場では、学生を対象としたワークショップや発表会を行った。若い世代が演劇や芸術文化に真剣に向き合い、それぞれに忘れられない夏の思い出を持ち帰ったようだ。

取材・文◎市川安紀

藤田貴大(右) Photo◎宮川舞子

◆藤田貴大 演劇ワークショップ

8月16日、大ホールの舞台上で人気劇団「マームとジブシー」を率いる気鋭の演出家・藤田貴大による演劇ワークショップが開かれた。埼玉県内在住・在学の中学生から大学生までが対象で、多数の希望者から抽選で21名(14歳～24歳)が参加した。

まずは名前と好きな給食を言い合うゲーム。初対面の相手の情報を懸命に思い出して口にするのは「プリミティブ(原始的)な台詞のあり方だ」と藤田。椅子取りゲームは自分の位置と視野を俯瞰で捉

え、性格も垣間見えて興味深い。次に4班に分かれ、自分が決めた3つのポーズを再現するゲーム。どんどんスピードを上げ、バリエーションを変えてポーズを繰り返し、「もっと速く!」という藤田の容赦ない追い込みで若者たちが走る、走る! 自分が見た風景の記憶を身体に叩き込む体育会系メソッドは圧巻だ。最後は短い4つの台詞を覚え、相手が何を返しても会話を成立させるゲーム。最も「演劇」らしい課題だが、藤田の意図は「知っている台詞」に

問を持つこと。予定調和ではなく、目の前にいる相手に対してビビッドな反応をすることが、演劇＝ライブの醍醐味だと藤田は考えている。

参加者の演劇経験はまちまちだったが、「移動の繰り返しだけで芝居のようで面白かった」「ハードだったが参加してよかった」「人間社会の縮図を擬似体験できた」「将来に影響すると思う」「自然と言葉が出る感覚が楽しかった」「身体を鍛えたいと思った」など大好評。演劇を志す者もそうでない者も、表現することの可能性を大いに感じる機会となったようだ。

◆平成26年度「世界の哲学・芸術文化アカデミー」高校生による演劇発表『ジュリエット・レターズ』

豊かな教養に基づく将来のリーダー育成のため、埼玉県が実施する「世界の哲学・芸術文化アカデミー」。その一環として、

県内の高校生13人による演劇発表が行われた(8月23日・情報プラザ)。テキストはシェイクスピア作『ロミオと

ジュリエット』(松岡和子翻訳)。蜷川幸雄の演出補を務める井上尊晶の指導により、6月からリハーサルを重ねた彼らが、それぞれが書いた「ジュリエットへの手紙」を読み上げ、「バルコニー」「毒

薬」など戯曲の名場面を様々なスタイルで演じていく。時に疾走感にあふれ、時に感情をほとばしらせながら、彼らなりに感じる古典の世界を表現していった。同一シーンを複数キャストで繰り返し、中には原語で台詞を喋る生徒も。彼らと同じ高校生による弦楽生演奏も雰囲気盛り上げる。

現代っ子らしい「純愛」への戸惑いと、愛のために命を賭ける一途な「熱さ」への憧憬とが入り混じり、古典戯曲というフィクションから自分が生きる意味を探った高校生たちの、真摯な「熱」が印象に残った。



PLAY 8月7日～24日

ニナガワ×シェイクスピア レジェンド第1弾『ロミオとジュリエット』



左：菅田将暉、右：月川悠貴
Photo◎清田征剛

蜷川幸雄が手がけたシェイクスピアの代表作を、「レジェンド」と銘打ち上演する企画の第1弾。4度目となる新演出は当劇場の「オールメール・シリーズ」同様、男性キャストのみによる上演となった。小ホールの空間すべてを使い切り、若手俳優たちが無邪気な無鉄砲さから切迫した悲壮感を増すクライマックスまで、駆けて駆けて駆け抜ける。躍動感あふれるロミオの菅田将暉は、自身をとりまく環境への怒りをたぎらせながら恋に恋する青年が本物の愛に目覚めた喜びを鮮やかに演じ、数々の娘役を演じてきた月川悠貴が、愛に殉じるジュリエットの強さを毅然と表現してみせた。若い恋人たちの死でようやく愚かさ気づく大人たち——というあまりにもよく知られた悲劇の終章は、それまで全く目立たず苛められていた、ひ弱な若者の報復テロという衝撃のラストへ。愛の強さは絶望という虚無の前に意味を持ち得るのか。純愛悲劇の彼岸に現代社会の縮図を見据えた蜷川の視線が、観る者の身体を鋭く射抜いた。

MUSIC 7月5日

NHK交響楽団 尾高忠明(指揮) 小山実稚恵(ピアノ)

20世紀ロシアの名曲が並んだNHK交響楽団の埼玉公演。ピアノ協奏曲の中でもとりわけ人気の高いラフマニノフの《ピアノ協奏曲第2番》では、小山実稚恵の繊細かつ力強いタッチと豊かな叙情性、それを支えるオーケストラの芳醇な音色が大きなうねりとなり、スケールの大きい音楽を歌いあげた。ショスタコーヴィチの《交響曲第5番》は、指揮の尾高忠明が深い情念と激情をみなぎらせ、その生命感あふれる渾身の演奏は聴衆に深い感動をもたらした。



Photo◎加藤英弘

MUSIC 7月27日・8月3日

埼玉会館／熊谷会館ファミリー・クラシック 夏休みオーケストラ!

ファンファーレで始まったコンサート。ブラームス《ハンガリー舞曲第10番》に続き、オケの音の感覚が体に残っているうちに、ナビゲーター朝岡聡が《ディズニーのメロディーによる管弦楽入門》(小室昌広作曲)に合わせ楽器を紹介。子どものソロも登場し名演が光った。後半はオーケストラを指揮したり、好きな楽器を持ち寄りステージに上がり、映画『となりのトトロ』より《さんぽ》を演奏するなど、会場の子もたちがオーケストラの魅力を存分に体感できるコンサートとなった。

Photo◎加藤英弘



DANCE 8月28日～31日

さいたまゴールド・シアター×瀬山亜津咲『KOMA』

ピナ・バウシュ ヴッパタール舞踊団で活躍するダンサー瀬山亜津咲が、ゴールドの団員たちと挑戦してきた「タンツテアター」の旅。ワークショップ、ワーク・イン・プログレス公開を経て3年目に披露した本公演は、与えられた「役」と「台詞」から離れ、カラフルな「個」の集合である彼らの素顔が小ホールを照らす作品となった。瀬山の問いかけに動きで答え、自らの身体で自身を語り、個々が繋がって生命力弾ける大河となっていく。予測不能な荒野も臆せず進む彼らの、今この瞬間を謳歌する喜びが伝わると同時に、表現者としての成熟も感じさせた。



Photo◎高橋志津夫

PLAY	DANCE	MUSIC	CINEMA & EVENT
<p>9 september</p> <p>15 月祝 休館日(彩の国さいたま芸術劇場・熊谷会館)</p> <p>16 火 休館日(彩の国さいたま芸術劇場・熊谷会館)</p> <p>17 水</p> <p>18 木</p> <p>19 金</p> <p>20 土</p> <p>21 日</p> <p>22 月 休館日(彩の国さいたま芸術劇場・熊谷会館)</p> <p>23 火祝</p> <p>24 水 白石加代子「百物語」シリーズ 第三十二夜 第99話 最終公演</p> <p>25 木 第98話 三島由紀夫「橋づくし」</p> <p>26 金 第99話 泉鏡花「天守物語」</p> <p>27 土</p> <p>28 日</p> <p>29 月 ※予定枚数終了。当日券については、公演当日午前10時以降に財団チケットセンターにお問い合わせください。</p> <p>30 火</p>	<p>15 月祝</p> <p>16 火</p> <p>17 水</p> <p>18 木</p> <p>19 金</p> <p>20 土</p> <p>21 日</p> <p>22 月</p> <p>23 火祝</p> <p>24 水</p> <p>25 木</p> <p>26 金</p> <p>27 土</p> <p>28 日</p> <p>29 月</p> <p>30 火</p>	<p>15 月祝</p> <p>16 火</p> <p>17 水</p> <p>18 木</p> <p>19 金</p> <p>20 土</p> <p>21 日</p> <p>22 月</p> <p>23 火祝</p> <p>24 水</p> <p>25 木</p> <p>26 金</p> <p>27 土</p> <p>28 日</p> <p>29 月</p> <p>30 火</p>	<p>15 月祝</p> <p>16 火</p> <p>17 水</p> <p>18 木</p> <p>19 金</p> <p>20 土</p> <p>21 日</p> <p>22 月</p> <p>23 火祝</p> <p>24 水</p> <p>25 木</p> <p>26 金</p> <p>27 土</p> <p>28 日</p> <p>29 月</p> <p>30 火</p>

PLAY	DANCE	MUSIC	CINEMA & EVENT
<p>10 october</p> <p>1 水 15:00</p> <p>2 木</p> <p>3 金</p> <p>4 土</p> <p>5 日</p> <p>6 月</p> <p>7 火 18:30</p> <p>8 水 13:30/18:30</p> <p>9 木</p> <p>10 金 13:30</p> <p>11 土 13:30/18:30</p> <p>12 日 13:30</p> <p>13 月祝</p> <p>14 火 13:30/18:30</p> <p>15 水 13:30</p> <p>16 木</p> <p>17 金 13:30</p> <p>18 土 13:30/18:30</p> <p>19 日 13:30</p> <p>20 月 13:30</p> <p>21 火 13:30/18:30</p> <p>22 水 13:30</p> <p>23 木</p> <p>24 金 13:30/18:30</p> <p>25 土 13:30</p> <p>26 日</p> <p>27 月</p> <p>28 火</p> <p>29 水</p> <p>30 木</p> <p>31 金</p>	<p>10 october</p> <p>1 水</p> <p>2 木</p> <p>3 金</p> <p>4 土</p> <p>5 日</p> <p>6 月</p> <p>7 火</p> <p>8 水</p> <p>9 木</p> <p>10 金</p> <p>11 土</p> <p>12 日</p> <p>13 月祝</p> <p>14 火</p> <p>15 水</p> <p>16 木</p> <p>17 金</p> <p>18 土</p> <p>19 日</p> <p>20 月</p> <p>21 火</p> <p>22 水</p> <p>23 木</p> <p>24 金</p> <p>25 土</p> <p>26 日</p> <p>27 月</p> <p>28 火</p> <p>29 水</p> <p>30 木</p> <p>31 金</p>	<p>10 october</p> <p>1 水</p> <p>2 木</p> <p>3 金</p> <p>4 土</p> <p>5 日</p> <p>6 月</p> <p>7 火</p> <p>8 水</p> <p>9 木</p> <p>10 金</p> <p>11 土</p> <p>12 日</p> <p>13 月祝</p> <p>14 火</p> <p>15 水</p> <p>16 木</p> <p>17 金</p> <p>18 土</p> <p>19 日</p> <p>20 月</p> <p>21 火</p> <p>22 水</p> <p>23 木</p> <p>24 金</p> <p>25 土</p> <p>26 日</p> <p>27 月</p> <p>28 火</p> <p>29 水</p> <p>30 木</p> <p>31 金</p>	<p>10 october</p> <p>1 水</p> <p>2 木</p> <p>3 金</p> <p>4 土</p> <p>5 日</p> <p>6 月</p> <p>7 火</p> <p>8 水</p> <p>9 木</p> <p>10 金</p> <p>11 土</p> <p>12 日</p> <p>13 月祝</p> <p>14 火</p> <p>15 水</p> <p>16 木</p> <p>17 金</p> <p>18 土</p> <p>19 日</p> <p>20 月</p> <p>21 火</p> <p>22 水</p> <p>23 木</p> <p>24 金</p> <p>25 土</p> <p>26 日</p> <p>27 月</p> <p>28 火</p> <p>29 水</p> <p>30 木</p> <p>31 金</p>

★特に記載のないものは彩の国さいたま芸術劇場にて開催します。

3歳以上のお子様から楽しんでいただける公演です。光の庭プロムナード・コンサートには年齢制限はありません。

PLAY

彩の国シェイクスピア・シリーズ番外編
ニナガワメシェイクスピアレジェンド第2弾
『ハムレット』

チケット発売日 一般：10月4日(土)
メンバーズ：9月27日(土)

詳細は ⇒ P.8

PLAY

さいたまゴールド・シアター
『鴉よ、おれたちは弾丸をこめる』

チケット発売日
【東京公演】一般・メンバーズ：9月28日(日)
【川越公演】一般：10月4日(土)
メンバーズ：9月27日(土)

詳細は ⇒ P.6 ~7

PLAY

彩の国さいたま寄席 四季彩亭
～柳家花緑 新春落語競演会

新春の四季彩亭には平成11年度彩の国落語大賞受賞の柳家花緑が登場。若手落語家たちとの競演をお楽しみに。

チケット発売日 一般：10月5日(日)
メンバーズ：9月28日(日)

日時：2015年1月16日(金) 開演19:00
会場：彩の国さいたま芸術劇場 小ホール
出演：柳家花緑 ほか
チケット(税込) 一般：3,000円 メンバーズ：2,700円
ゆうゆう割引(65歳以上・障がい者)：2,000円

PLAY

彩の国シネマスタジオ
LINE UP 2014.10-11

10月17日(金)～20日(月)
会場：彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール

『燦燦-さんさん-』『此の岸のこと』
2作品セット上映

17日(金) 11:00 / 14:30 / 18:00
18日(土) 10:30 / 14:00 / 17:30
19日(日) 10:30 / 14:00 / 17:30
20日(月) 10:30 / 14:00

※17日11:00上映回の『燦燦-さんさん-』には、視覚障がい者のための音声ガイドがつきます。イヤホン付FMラジオ受信機を使用しますので、お聴きになる方はご持参ください。

『燦燦-さんさん-』(2013年/日本/81分)
監督・脚本：外山文治
出演：吉行和子、山本 學、宝田 明 ほか
*さいたまゴールド・シアター員も多数出演!

『此の岸のこと』(2010年/日本/30分)
監督・脚本・製作：外山文治
出演：遠山陽一、百元夏輪(さいたまゴールド・シアター)

PLAY

新春狂言 万作・萬斎の世界

チケット発売日 一般：10月11日(土)
メンバーズ：10月5日(日)

詳細は ⇒ P.9

MUSIC

佐藤俊介の現在 Vol.1

モダンとビリオド、双方の楽器で活躍する気鋭のヴァイオリニストが登場。Vol.1は、ダンスとコラボレーション!

Photo © Arnold Groeschel

チケット発売日 一般：11月1日(土)
メンバーズ：10月25日(土)

日時：2015年1月31日(土) 開演13:00 / 16:00
2月 1日(日) 開演13:00 / 16:00
会場：彩の国さいたま芸術劇場 大練習室
演出：『ねずみのすもう』
振付：近藤良平
出演：鎌倉道彦、藤田善宏、山本光二郎
『いっすんぼうし』
振付：下司尚実
出演：佐々木富貴子、鈴木美奈子、下司尚実

Photo © Sakai Koki

チケット発売日 一般：9月27日(土)
メンバーズ：9月23日(火祝)

日時：2015年2月14日(土) 開演15:00
会場：彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
出演：佐藤俊介(ヴァイオリン)、柳本雅寛(ダンス)、田村吾郎(演出)
曲目：J. S. バッハ/《無伴奏ヴァイオリン・ソナタとバルティータ》より
イザイ/《無伴奏ヴァイオリン・ソナタ》より
ほか
チケット(税込) 一般：4,000円 メンバーズ：3,600円
U-25(25歳以下対象/劇場のみ取扱/要身分証明書)：2,000円
※本公演は、演出の都合により正面席のみの発売になります。

DANCE

日本昔ばなしのダンス
近藤良平『ねずみのすもう』
下司尚実『いっすんぼうし』

親子で楽しめる毎回好評のコンテンツラリー・ダンス・シリーズ。人気作『ねずみのすもう』の再演と新作『いっすんぼうし』をお届けします。

Photo © Arnold Groeschel

チケット発売日 一般：11月1日(土)
メンバーズ：10月25日(土)

日時：2015年1月31日(土) 開演13:00 / 16:00
2月 1日(日) 開演13:00 / 16:00
会場：彩の国さいたま芸術劇場 大練習室
演出：『ねずみのすもう』
振付：近藤良平
出演：鎌倉道彦、藤田善宏、山本光二郎
『いっすんぼうし』
振付：下司尚実
出演：佐々木富貴子、鈴木美奈子、下司尚実

チケット(税込) 一般：大人(高校生以上) 2,000円 / 子ども(3歳以上中学生以下) 1,000円
※本公演は大練習室での公演のため、座席の仕様が通常と異なるほか、座席数に限りがございます。

CINEMA

彩の国シネマスタジオ 埼玉会館上映会
『笑う男』

チケット発売日 一般・メンバーズ：9月28日(日)

※詳細は下記、彩の国シネマスタジオ LINE UPをご確認ください。

3歳以上のお子様から楽しんでいただける公演です。

彩の国シネマスタジオ LINE UP 2014.10-11

10月17日(金)～20日(月)
会場：彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール

『燦燦-さんさん-』『此の岸のこと』
2作品セット上映

17日(金) 11:00 / 14:30 / 18:00
18日(土) 10:30 / 14:00 / 17:30
19日(日) 10:30 / 14:00 / 17:30
20日(月) 10:30 / 14:00

※17日11:00上映回の『燦燦-さんさん-』には、視覚障がい者のための音声ガイドがつきます。イヤホン付FMラジオ受信機を使用しますので、お聴きになる方はご持参ください。

『燦燦-さんさん-』(2013年/日本/81分)
監督・脚本：外山文治
出演：吉行和子、山本 學、宝田 明 ほか
*さいたまゴールド・シアター員も多数出演!

『此の岸のこと』(2010年/日本/30分)
監督・脚本・製作：外山文治
出演：遠山陽一、百元夏輪(さいたまゴールド・シアター)

10月2日(木)～3日(金)

会場：熊谷会館 ホール

優秀映画鑑賞推進事業 市川雷蔵、中村錦之助特集
A『弁天小僧』 B『眠狂四郎殺法帖』
C『反逆児』 D『番掛時次郎 遊侠一匹』

2日(木) 10:30(A) / 13:20(B) / 15:40(C)
3日(金) 10:00(C) / 13:10(D) / 15:40(A)

A『弁天小僧』(1958年/86分)
監督：伊藤大輔
出演：市川雷蔵、青山京子、黒川弥太郎 ほか
B『眠狂四郎殺法帖』(1963年/81分)
監督：田中徳三
出演：市川雷蔵、中村玉緒、若山富三郎 ほか

C『反逆児』(1961年/110分)
監督：伊藤大輔
出演：中村錦之助、桜町弘子、月形龍之介 ほか
D『番掛時次郎 遊侠一匹』(1966年/90分)
監督：加藤 泰
出演：中村錦之助、池内淳子、瀧美 清 ほか

11月20日(木)

会場：埼玉会館 小ホール

活動弁士・伴奏つき無声映画上映
『笑う男』
20日(木) 18:30

監督：パウル・レニ 出演：メアリー・フィリップス、コンラート・ファイト ほか
弁士：澤登 翠 演奏：カロード・モントーン (1928年/アメリカ/110分)

チケット(税込) 全席指定 一般：前売2,000円 / 当日2,500円
学生：前売1,000円 / 当日1,500円
メンバーズ：前売・当日1,800円
チケット発売日 一般・メンバーズ：9月28日(日)

11月6日(木)～9日(日)

会場：彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール

『世界の果ての通学路』

6日(木) 10:30 / 14:00 / 17:00
7日(金) 10:30 / 14:00 / 17:00
8日(土) 10:30 / 14:00 / 17:00
9日(日) 10:30 / 14:00

©2013 - Winds - Ymagis - Herodiade
監督：バスカル・ブリッソン
(2012年/フランス/77分)

PLAY

彩の国さいたま芸術劇場開館20周年記念
彩の国シェイクスピア・シリーズ第29弾
『ジュリアス・シーザー』

日時：10月7日(火)～10月25日(土)
※開演時間はP.20のカレンダーにてご確認ください。
会場：彩の国さいたま芸術劇場 大ホール
演出：蛭川幸雄
作：W.シェイクスピア
翻訳：松岡和子
出演：阿部 寛、藤原竜也、横田栄司、吉田鋼太郎
ほか
チケット(税込)
一般：S席9,500円/A席7,500円/B席5,500円
メンバーズ：S席8,600円/A席6,800円/B席5,000円
U-25(25歳以下対象/B席対象/劇場のみ取扱/要身分証明書)：2,000円

彩の国さいたま芸術劇場開館20周年記念
彩の国さいたま寄席 四季彩亭
～彩の国落語大賞受賞者の会～
三遊亭兼好

日時：10月10日(金) 開演19:00
会場：彩の国さいたま芸術劇場 小ホール
出演：三遊亭兼好(二席)、
三遊亭好楽(ゲスト)、三遊亭萬橘、
三遊亭鯛好
チケット(税込)
一般：3,000円 メンバーズ：2,700円 ゆうゆう割引(65歳以上・障がい者)：2,000円

MUSIC

埼玉会館ランチタイム・コンサート第26回
塚越慎子 マリimba・リサイタル

日時：9月18日(木) 開演12:10(終演予定13:00)
会場：埼玉会館 大ホール
出演：塚越慎子(マリimba)、石黒唯久(ピアノ)
曲目：ピアソラ(サミュエル編曲)/リベルタンゴ
サラサーテ/ツイゴイネルワイゼン ほか
チケット(税込)
全席指定 1,000円

MUSIC

彩の国さいたま芸術劇場開館20周年記念
ピエール＝ロラン・エマール
J.S.バッハ
《平均律クラヴィーア曲集第1巻》
全曲演奏会

日時：11月8日(土) 開演14:00
会場：彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
曲目：モーツァルト/ピアノ・ソナタ第3番
変ロ長調 KV281
ショパン/アンダンテ・スピナートと
華麗なる大ボロネーズ ほか
チケット(税込)
一般：正面席4,000円
メンバーズ：正面席3,600円
※バルコニー席・学生席は予定枚数終了

新日本フィルハーモニー交響楽団
井上道義(指揮)
竹澤恭子(ヴァイオリン)

日時：12月11日(木) 開演12:10(終演予定13:00)
会場：埼玉会館 大ホール
出演：渡辺克也(オーボエ)
古澤幹子(ピアノ)
曲目：シューマン/3つのロマンス
アーヴィング・バーリン/ホワイト・クリスマス
ほか
チケット(税込)
全席指定 1,000円

埼玉会館ランチタイム・コンサート第27回
渡辺克也 オーボエ・リサイタル

日時：12月11日(木) 開演12:10(終演予定13:00)
会場：埼玉会館 大ホール
出演：渡辺克也(オーボエ)
古澤幹子(ピアノ)
曲目：シューマン/3つのロマンス
アーヴィング・バーリン/ホワイト・クリスマス
ほか
チケット(税込)
全席指定 1,000円

埼玉会館ニューイヤー・コンサート2015
大谷康子&東京交響楽団室内合奏団

日時：2015年1月6日(火) 開演14:00
会場：埼玉会館 大ホール
曲目：クライスラー/愛の喜び
J.シュトラウスⅡ/ワルツ《美しく青きドナウ》
ほか
チケット(税込)
一般：S席3,000円/A席2,000円(学生1,000円)
メンバーズ：S席2,700円

彩の国さいたま芸術劇場開館20周年記念
彩の国さいたま芸術劇場シリーズ企画
「次代へ伝えたい名曲」第3回
堀米ゆず子 ヴァイオリン・リサイタル

日時：2015年1月17日(土) 開演15:00
会場：彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
曲目：ベートーヴェン/ピアノ・ソナタ第14番
嬰ハ短調「月光」
ショパン/ピアノ・ソナタ第2番 変ロ短調
ほか
チケット(税込)
一般：正面席3,500円/バルコニー席2,500円(学生1,000円)
メンバーズ：正面席3,200円

DANCE

彩の国さいたま芸術劇場開館20周年記念
バンジャマン・ミルピエ
L.A. Dance Project

日時：2015年1月17日(土) 開演15:00
会場：彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
曲目：ベートーヴェン/ピアノ・ソナタ第14番
嬰ハ短調「月光」
ショパン/ピアノ・ソナタ第2番 変ロ短調
ほか
チケット(税込)
一般：正面席3,500円/バルコニー席2,500円(学生1,000円)
メンバーズ：正面席3,200円

THEATER BRIDGE

Information

「彩の国レクチャー・シリーズ」参加者募集!

当財団では地域とともに舞台芸術の芽を育む普及啓発の新たな取り組みとして、「彩の国レクチャー・シリーズ」を立ち上げます。初年度となる今年は「劇場と地域づくり」をテーマに2回開講予定。

第1回は、BEPPU PROJECT 代表理事の山出淳也氏を講師にお招きします。大分県別府市では、現在、空き店舗を活用した取り組みや3年に1回開催される国際芸術祭「混浴温泉世界」の開催などで活気を取り戻しつつあり、その動きはさらなる広がりを見せています。「アートな地域づくり」の仕掛人である山出氏にその秘密を語っていただきます。

さらに、さいたま市が平成28年度の開催を計画している国際芸術祭「(仮称)さいたまトリエンナーレ」の総合アドバイザーを務める加藤種男氏と当財団理事長の竹内文則氏が加わり、山出氏とともに、アートと劇場と地域の展望について意見を交わします。

第2回は、「ご当地グルメでまちおこしの祭典! B-1グランプリ」の全国展開などの仕掛けにより、静岡県富士宮市のご当地グルメ「富士宮やきそば」でまちおこしの新たな潮流を生んだ渡邊英彦氏をお招きします。地域資源のひとつである「ご当地グルメ」を観光と集客の手段としたまちおこしから、地域を元気にする秘訣に迫ります。奮ってご参加ください!

■彩の国レクチャー・シリーズ「劇場と地域づくり」第1回 「混浴温泉世界BEPPU—新たな地域づくりの実践から」

出演：山出淳也(特定非営利活動法人BEPPU PROJECT代表理事)
加藤種男(公益社団法人企業メセナ協議会専務理事)
竹内文則(公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団理事長)
日時：9月19日(金) 19:00～20:30
会場：埼玉会館 小ホール
定員：500名 ※入場無料
※追加募集あり。詳細・お申し込み方法は財団ホームページをご覧ください。

■彩の国レクチャー・シリーズ「劇場と地域づくり」第2回 「“ご当地グルメ”で地域を元気に—新たな地域づくりの実践から2」

出演：渡邊英彦(ご当地グルメでまちおこし団体連絡協議会代表理事) 他
日時：11月3日(月・祝) 13:15～14:45
会場：彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール
定員：150名 ※入場無料
※詳細・お申し込み方法は財団ホームページをご覧ください。



山出淳也氏

加藤種男氏

渡邊英彦氏

メンバーズに入会すると便利で楽しい特典がいっぱい!! 年会費2,000円

- 特典その1 **メンバーズ料金** 財団指定の公演でメンバーズ料金
- 特典その2 **優先予約** 一般発売よりも先に人気公演のチケット販売
- 特典その3 **チケット購入はキャッシュレス** チケット代、年会費は便利な口座引落し
- 特典その4 **財団情報誌をお届け** 公演情報満載の「埼玉アーツシアター通信」をお送りします
- 特典その5 **チケット送料無料** チケットは「安心のセキュリティブック(補償付き)」でお届け
- 特典その6 **プレオーダー** 人気の公演では優先予約に先駆けてプレオーダーを実施 ※プレオーダーは抽選

ご入会希望の方は、メンバーズ事務局 TEL: 048-858-5507 (彩の国さいたま芸術劇場休館日を除く 10:00～19:00)

ACCESSMAP アクセスマップ



[チケットの購入方法について]

インターネット

「SAF オンラインチケット」で、発売初日 10:00 から公演前日 23:59 まで受付いたします。
[PC・携帯共通] <http://www.ticket.ne.jp/saf/>

メンバーズ 登録のご住所へ無料配送

一般 【クレジットカード決済】または【コンビニ支払い】 → 【コンビニ発券】
※チケット代他に、店頭発券手数料(チケット1枚につき120円)が必要です。

メンバーズ 登録のご住所へ無料配送

一般 【クレジットカード決済】または【コンビニ支払い】 → 【コンビニ発券】
※チケット代他に、店頭発券手数料(チケット1枚につき120円)が必要です。
※コンビニ支払い後に宅配便での配送も承りますが、チケット代ほかに配送料(配送1件につき400円)が必要です。

電話予約

●チケットセンター
0570-064-939
10:00～19:00(彩の国さいたま芸術劇場休館日を除く)
※一部の携帯電話、PHS、IP 電話からは受付できません。

メンバーズ 【口座引落】 → その場でチケットをお渡しします。
※手数料はかかりません。

一般 【現金】または【クレジットカード決済】 →

下記窓口で直接購入いただけます。
電話予約したチケットの引取もできます。

●彩の国さいたま芸術劇場(10:00～19:00)
●埼玉会館(10:00～19:00) ※休館日をお確かめの上
●熊谷会館(10:00～17:00) ※休館日をお確かめの上
※来場ください。

窓口販売

サポーター会員

(公財) 埼玉県芸術文化振興財団は、演劇、ダンス、音楽を中心に、この劇場でしか見られない最高の作品を提供できるよう、蛭川幸雄芸術監督のもと、作品づくりに努めています。こうした財団の活動にご理解、ご支援をいただいているのが(公財) 埼玉県芸術文化振興財団サポーター会員の皆様方です。

(株) 与野フードセンター / (株) 亀屋 / (株) 松本商会 / (有) 香山壽夫建築研究所 / 埼玉新聞社 / テレビ埼玉ミュージック / 埼玉りそな銀行 / (株) バシフィックアートセンター / (株) アサヒコミュニケーションズ / FM NACK5 / 東京ガス(株) / カヤバシステム マシナリー(株) / (株) タムロン / (株) 十萬石ふくさや / 森平舞台機構(株) / 東芝エルティエンジニアリング(株) / 埼玉トヨタ自動車(株) / (有) 齋賀設計工務 / 武蔵野銀行 / 浦和ロイヤルパインズホテル / アルビーノ村 / 国際照明(株) / 埼玉スバル / 桶本興業(株) / (株) 佐伯紙工所 / (株) 太陽商工 / (株) しまむら / (有) 六辻ゴルフセンター / 不動開発(株) / ビストロ やま / 埼玉縣信用金庫(株) / 栗原運輸 / 彩の国SPグループ / (有) プラネッツ / 関東自動車(株) / (株) デサン / セントラル自動車技研(株) / 丸美屋食品工業(株) / ボラグループ / ひがし歯科 / 埼玉トヨペット(株) / 公認会計士 宮原敏夫事務所 / (株) 価値総合研究所 / (株) 埼玉交通 / 医療法人 顕正会 蓮田病院 / (株) ウイズネット / サイデン化学(株) / アイル・コーポレーション(株) / 五光印刷(株) / 旭ビル管理(株) / ヤマハサウンドシステム(株) / (株) エヌテックサービス / (株) クリーン工房 / (株) つばめタクシー / (株) サンワックス / (株) 総合舞台 / (株) タクトコーポレーション / 広総業(株) / (財) さいたま住宅検査センター / (株) 国大セミナー / (株) NEWSエンターテインメント / (株) オーガス / イープラス / 六三四堂印刷(株) / 医療法人 榎会 林整形外科 / 埼玉県整形外科医会 / 医療法人社団 山粋会 山崎整形外科 / サンケイリビング新聞社 / (株) 三和広告社 / (株) セノン / 東京新聞ショッパー / (株) 松尾楽器商会 / (有) 中央舞台サービス / JA埼玉県中央会 / 日本大学芸術学部 / (株) 川口自動車交通 / (株) ホンダカーズ埼玉 / ファミリーマートあすまや / (有) 杉田電機 / 丸茂電機(株) / 太平ビルサービス(株) / さいたま支店 / (株) 片岡食品 / (株) 協栄 / (株) ヨコハマタイヤジャパン / NTT東日本 埼玉支店 / チャコット(株) / (株) 平和自動車 / 光陽オリエントジャパン(株) / 埼玉建設(株) / さくらMusic Office / 神田大塚法律事務所 / クワバラ・パンぶキン / 駒橋内科医院 / 東和産業(株) / テレビ埼玉 / 日本ビストロリング(株)

【お問い合わせ先】(公財) 埼玉県芸術文化振興財団 営業宣伝課 サポーター会員担当 TEL 048-858-5507

H26.8.25 現在 / 一部未掲載



足元にもシェイクスピアの名台詞



蛭川幸雄をはじめとした
手形レリーフが並ぶ

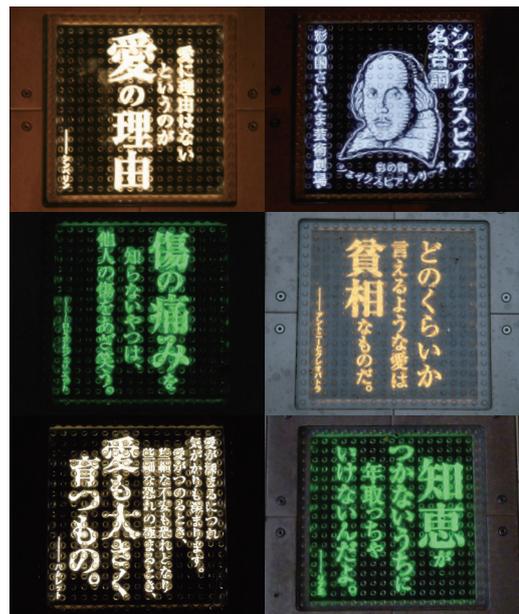
JR 埼京線与野本町駅から彩の国さいたま芸術劇場に向かう「たつみ通り」の与野西中学校 (P23マップ参照) 前には、当劇場の芸術監督・蛭川幸雄をはじめ、「彩の国シェイクスピア・シリーズ」に出演した俳優たちの手形レリーフが設置されている。

この「たつみ通り」の歩道に今年新たに登場したが、当劇場にちなんだ埋め込み照明だ。日が暮れてからの劇場の行き帰り、ふと足元を見るとほのかな灯りに浮かぶ人の顔や文が……。これはシェイクスピアの顔や名台詞をモチーフにした照明で、「どのくらい言えるような愛は貧相なものだ」(『アントニーとクレオパトラ])、「知恵がつかないうちに年取っちゃいけないんだよ」(『リア王]) などなど、思わず膝を打つ(人生訓)ともいえる言葉の数々に、立ち止まってじっくり眺める人の姿も。

さいたま市による「アートストリート」整備事業の一環で、今後は与野本町駅前公園にも整備される予定。お気に入りの名台詞を見つけてみよう。

さいたま市による「アートストリート」整備事業の一環で、今後は与野本町駅前公園にも整備される予定。お気に入りの名台詞を見つけてみよう。

アートストリーの埋め込み照明



SAITAMA ARTS THEATER PRESS 2014.9-10

平成26年9月15日発行 53号(隔月15日発行) 第53号(9月・10月)
発行人: 竹内文則 発行: 公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団
〒338-8506 さいたま市中央区上峰3-15-1 TEL.048-858-5500